

発電所だより

6月号

平成24年6月発行 東北電力株式会社女川原子力発電所総務部広報グループ 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。http://www.tohoku-epco.co.jp

《防潮堤の本体工事が完了しました》

女川原子力発電所では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえた緊急安全対策の一つである防潮堤について、昨年12月より設置工事を進めてきましたが、このたび4月26日に本体工事が完了しました。

現在の発電所の敷地（高さ約14メートル）の上に、セメント改良土※を使用した約3メートルの高さの防潮堤を約600メートルに亘って設置。
※土にセメントを加えて強度を高めたもの



敷地高さとおわせ高さ約17メートル、長さ約600メートルの防潮堤

今回設置した高さ約3mの防潮堤

これにより高さは約17メートルになり、津波に対する安全性がさらに向上しました。

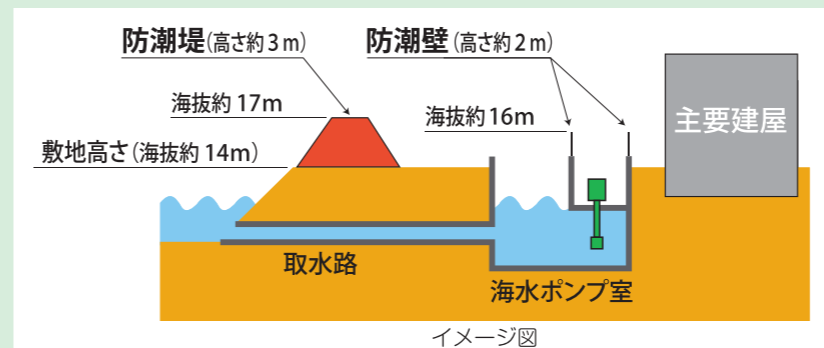
また、非常用海水ポンプ施設への浸水を防ぐために防潮堤と並行して設置工事を進めていた防潮壁についても工事が完了しました。



構内から見た防潮堤



2号機海水ポンプ室の周囲に設置した防潮壁



【石巻市議会総合防災対策特別委員会による現地調査が実施されました】



5月8日には、石巻市議会総合防災対策特別委員会の委員の方々が、本体工事が完了したばかりの防潮堤などを現地調査されました。

現地調査を踏まえ、委員の方から「防潮堤、大容量電源装置の設置などきちんと対応してきている。今後も安全対策をしっかりと実施してほしい」との講評がありました。

《女川原子力発電所の状況について》

東北地方太平洋沖地震により、女川原子力発電所の全号機は設計どおりに自動停止し、安定した状態で安全に停止しています。

本年4月4日に発生した1号機の非常用補機冷却海水ポンプ(A)用電動機の故障の原因は、屋外に設置している当該電動機の給油口の蓋が締め付け不足であったため、蓋の隙間から雨水等が浸入したことにより電動機内部で錆等が発生した結果、機器の絶縁性が失われたことによるものと推定しました。

今後は、工場出荷時にチェックシートで確認するなど万全な締め付け管理を行うとともに継続的な教育により再発防止に努めてまいります。

現在、実施している定期検査の4月分として、トラブルに該当しない軽度な事象はありませんでした。また、地震・津波による主要設備への軽微な被害としてこれまでに確認された61件のうち、新たに1件(計47件)が復旧しています。

【発電所の運転状況(5月末現在)】

号機	運転状況	主な動き
1号機	定期検査中	平成23年9月10日より第20回定期検査を実施しています
2号機	定期検査中	平成22年11月6日より第11回定期検査を実施しています
3号機	定期検査中	平成23年9月10日より第7回定期検査を実施しています

《固体廃棄物貯蔵所の増設について》

5月8日、女川原子力発電所における固体廃棄物貯蔵所※1の増設について、宮城県、女川町、石巻市より、安全協定に基づく事前了解をいただきました。

当発電所では、これまでも廃棄物の発生量低減に取り組むとともに、日本原燃六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターへ埋設可能な廃棄物は計画的に搬出していますが、これまでの発生量の実績から、平成25年度※2には現在ある固体廃棄物貯蔵所の保管容量に達する見込みであったことから、既設の貯蔵所の隣に新たに増設することとし、平成23年2月28日に、宮城県、女川町、石巻市へ事前協議の申し入れを行っていました。

なお、本件については、平成23年3月1日に、経済産業大臣に原子炉設置変更許可を申請し、平成24年3月27日に許可をいただいています。

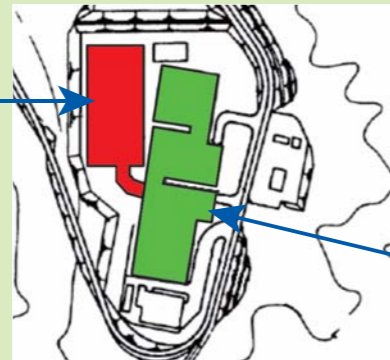
今後は、準備が整い次第、国へ工事計画書を提出し、平成26年1月の竣工に向け、本年7月に着工する予定としています。

※1 発電所敷地内にあり、定期検査などで発生する布、紙、ゴム手袋、保温材などの低レベル放射性廃棄物を詰めたドラム缶を保管する施設

※2 事前協議申し入れ（H23.2.28）時点での見込み。その後、地震や津波の被害を受けた設備の復旧工事等の実施により廃棄物発生量は増加傾向にあるものの、廃棄物低減対策により、保管容量に達するのは平成26年度中の見込み

増設する固体廃棄物貯蔵所

保管容量 約25,000本相当
(200ℓドラム缶)



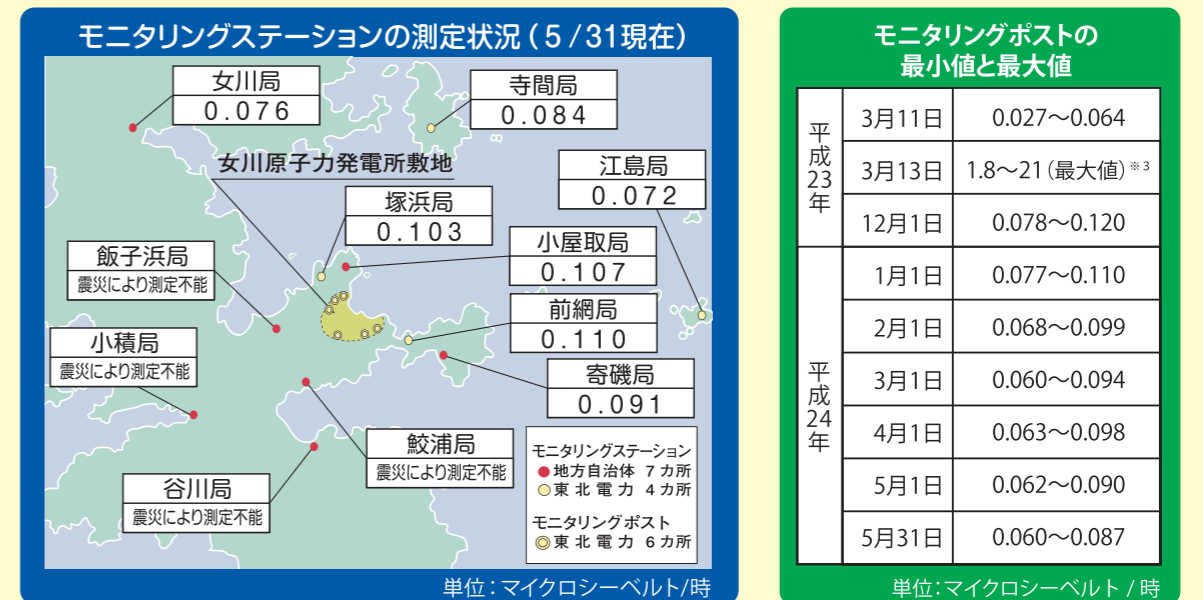
既設の固体廃棄物貯蔵所

保管容量 約30,000本相当
保管量(平成24年3月末現在)
約26,600本相当
(いずれも200ℓドラム缶)

《女川原子力発電所周辺の放射線》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

現在の測定値は、東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い、震災前よりも若干高い値を示していますが、最大で0.087マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日の値、至近6カ月の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて空気中の放射性物質の濃度や気象データを測定しています。
- ※3 最大値が測定されたのは約10分間です。この値は1時間で胸部レントゲン1回の値(50マイクロシーベルト)の約半分の値です。

女川原子力PRセンターにて「ローズガーデンフェア」開催



赤や黄色など多くの種類のバラをご覧ください。

女川原子力PRセンターでは、6月16日~7月8日の間(但し、6月18日(月)は休館)「ローズガーデンフェア」を開催します。

同センターの敷地内にあるスイートガーデンには、美しい花々やりんご園、野菜畑などがあり一年を通して様々な植物が楽しめますが、特にローズガーデンフェアの時期は、数十種類ものバラが見頃を迎えます。

期間中、ご希望の方には、バラをバックに撮影した記念写真をプレゼントしますので、皆さまお誘いあわせの上、お越しください。

イベント内容

★ミニバラを使った寄せ植え教室 (事前予約制 各日先着30名)

- 開催日: 6/24(日)・7/1(日)・7/8(日)
- 開催時間: 11:00~12:00
- 開催場所: 女川原子力PRセンター <1F:大ホール>
- 参加費: お一人さま/500円
- 申込方法: お名前、参加人数、電話番号を電話にてご連絡ください。
- 連絡先: 女川原子力PRセンター
TEL: 0225-53-3410

★バラをバックに記念撮影 (写真をプレゼント!!)

- 開催期間中の毎日。10:00~16:00 (休館日の6月18日(月)を除く)

